

モニタリングレポート(平成27年度)

施設名	鈴鹿市武道館				
施設所在地	鈴鹿市江島台二丁目6番1号				
指定管理者名	特定非営利活動法人 鈴鹿市体育協会				
評価担当課	スポーツ課	問合せ先	059-382-9029		
施設の運営状況	(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書				
開館日数	333日	総利用者数	71,001人	1日当たりの利用者数	213人
開館時間	午前9時から午後9時まで				
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
利用料金	5,900,000	6,487,310	587,310		
事業収入	2,500,000	2,055,450	▲ 444,550		
指定管理料	16,905,000	16,905,000	0		
雑収入	28,000	55,510	27,510		
収入計	25,333,000	25,503,270	170,270		
人件費	9,344,000	9,364,462	20,462		
旅費交通費	6,000	950	▲ 5,050		
通信運搬費	158,000	123,926	▲ 34,074		
受信料	60,000	59,509	▲ 491		
消耗品費	230,000	220,354	▲ 9,646		
修繕費	700,000	813,240	113,240		
印刷製本費	110,000	106,821	▲ 3,179		
燃料費	6,000	1,890	▲ 4,110		
光熱水費	3,500,000	3,559,577	59,577		
賃借料	844,000	859,960	15,960		
手数料	0	8,586	8,586		
保険料	760,000	475,360	▲ 284,640		
委託費	5,080,000	4,845,739	▲ 234,261		
租税公課	0	1,006,000	1,006,000		
諸謝金	3,530,000	3,538,000	8,000		
本部管理費	1,055,000	3,339,011	2,284,011		
支出計	25,383,000	28,323,385	2,940,385		
収支	▲ 50,000	▲ 2,820,115	▲ 2,770,115		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	H27年10月から11月にかけて実施。各施設とも満足度は高くなっている。
	現地調査	優良	衛生面や景観面等を常に配慮し、維持管理されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	損益計算書	○	利益を求める団体ではないことを考慮すると問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
	その他財務諸表等	○	マニュアルの確認事項はすべて問題なし。
年度業務報告書の内容評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力、施設管理運営能力、いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○適・不適
月次報告書の提出及び2ヶ月に一度報告会を開催し、報告書に関する質疑応答や課題の共有等を行った。定例報告会において、自主的な改善案の提案や現状抱えている課題について情報共有を行うなど積極的な姿勢が窺える。			
緊急時の対応評価			○適・不適
大規模災害等の緊急事態は発生しなかったが、マニュアルを整備し、定期的な訓練を実施しており、緊急時への対応準備は整っている。また、台風の接近時は、迅速に施設利用者の安全確保を優先するなど、円滑に対応できている。			
指定管理者の総括評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、自主的に各施設の課題把握に励み、課題改善のための様々な方策を提案・実行する意識の高さで、使用者の安全面への配慮や利便性向上に日々努めている。			
施設の課題と対策			
指定管理者の日常的な努力もあり、昨年度比で年間約5000人の利用者増となり、非常に多くの市民が施設を利用している。施設の老朽化については、現在のところ指定管理者の応急的な修繕の実施などで利用者への直接的な影響は最小限に止められているが、計画的に修繕を行っていく必要がある。			
施設の方向性			
施設へのニーズは非常に高く、本市のスポーツ振興を図る上で必要不可欠な施設であるため、今後も施設を維持していく方針である。しかし、施設の老朽化に伴う不具合が生じており、公共施設マネジメントに基づく、計画的な修繕を必要としている。			